

2015年8月31日

電通、米国のオーパワーと協業**－ エネルギー自由化に向けてクライアントサービスの高度化を実現 －**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直、以下「電通」）は、本日付で、エネルギーに関するビッグデータ・プラットフォームを展開する米国の OPOWER INC.（本社：バージニア州、代表：ダン・イエイツ、以下「オーパワー」）と協業し、2016年以降のエネルギー自由化に向けてクライアントサービスを高度化していくことにしました。日本法人のオーパワー・ジャパン株式会社とも連携してまいります。

1. 協業提携の背景

2016年4月から始まる電力の小売自由化、2017年のガス小売自由化により、家庭、小口事業者が自由に電力会社・ガス会社を選択できるようになります。

エネルギーの自由化で先行した海外では、事業参加者の増加と料金プランの多様化が進み、個々の利用者ニーズにきめ細かく対応したマーケティング・コミュニケーションの展開力が事業者の競争優位確立に影響を及ぼしています。

オーパワーは、すでに自由化した市場を含む世界中で、約100社の電力・ガス事業者にエネルギーのビッグデータ分析をベースにした省エネ促進のための顧客エンゲージメント・プラットフォームを提供している世界ナンバーワンのベンダーです。個人の電力使用データなどのビッグデータ分析と行動科学をもとに、パーソナライズされた省エネアドバイスを消費者に提供し、そのフィードバックを通じ事業者のコスト効率を改善することで、事業者と顧客の関係向上、ひいては社会のエネルギー収支の最適化を支援しています。

一方電通は、エネルギー領域におけるマーケティング・プロモーション、事業開発、コンサルティング、ITソリューションといった多様なコミュニケーション・サービスを事業者を提供するべく、2015年2月にエネルギー領域のソリューションチーム「DEMS（ディームス）」を立ち上げ、すでに多くのエネルギー関連クライアントに各種ソリューションを提供しています。

電通とオーパワーはこうした相互の強みを生かすことで、クライアントサービスの一層の高度化を図り、電力・ガスなどの既存エネルギー事業者および新規参入企業に対して、統合的なマーケティング・コミュニケーション・サービスを提供していくことにしました。

また、日本の消費者ニーズに合わせ、オーパワーのソリューションのローカライゼーションを強化するとともに、海外のエネルギー事業者に対するノウハウの横展開も推進していきます。

2. 2社で提供するサービスの概要

- ① ビッグデータ分析と省エネインサイトによる顧客管理・維持・ロイヤルティ向上のためのサービスの提供
 - a. マスコミュニケーション、PR、ソーシャルメディア、契約者との One to One ダイレ

クトチャンネルが有機的に連携した統合的なコミュニケーション戦略をシームレスに企画・実施。

- b. 契約者向けのダイレクトコミュニケーション業務におけるマーケティング・アウトソーシングサービスの提供。

② 地域エンゲージメントモデルの創造

オーパワープラットフォーム契約者の電力使用データ、電通が持つ生活者知見や地域・社会動向データなどを活用した新たなデマンド・レスポンススキーム、地域ポイントプログラム、地域セグメント広告メディアの開発などを推進。

オーパワー本社およびオーパワー日本の概要は以下のとおりです。

【オーパワー本社の概要】

- ・社名：OPOWER INC.
- ・所在地：米国 バージニア州アーリントン
- ・代表者：ダン・イエイツ（CEO）
- ・設立：2007年6月
- ・ウェブサイト：<http://opower.com/>

【オーパワー日本の概要】

- ・社名：オーパワー日本株式会社
- ・所在地：東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 10階
- ・代表者：公家 尊裕（カンントリー・マネージャ）
- ・設立：2013年9月

以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
長澤、溪 TEL：03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 チーム「DEMS（ディームス）」
小宮、村田 Email：dems@dentsu.co.jp